

「チェンジ玉名」 進捗状況報告書

【概要版】

(平成24年度末の目標達成状況)

玉名市6次産品



玉 名 市

はじめに

平成21年11月の市長選挙で市民の皆様にもローカルマニフェストとしてお約束しました事柄について、具体的な行政施策として推進するため『チェンジ玉名』を策定し、これまで全力で取り組んでまいりました。

チェンジ玉名の取組状況については、毎年9月に前年度末の進捗状況を報告書としてとりまとめ市ホームページで公表するとともに、概要版を市内全戸へ配布し市民の皆様にお知らせしています。このたび、平成24年度末までの進捗状況をとりまとめましたのでお知らせいたします。

チェンジ玉名の計画期間である25年度末まで残すところ後7カ月となりました。予算や諸般の事情から目標達成まで道半ばの施策があることも否定できませんが、概ね、当初の目標どおり順調に進捗していると判断しております。

今後に残された期間、可能な限り多くの計画が達成できるよう、そして、チェンジ玉名のスローガンである“市民が輝き、都市が輝き、夢がひろがる玉名”の実現に少しでも近づけるよう、それぞれの施策の推進に精一杯取り組んでまいりますので、市民の皆様には、引き続きご支援とご協力をお願いいただければ幸いに存じます。

なお、各年度別に設定した目標やその達成度を測るための指標と判断方法については『「チェンジ玉名」の目標と達成度の判断方法』により、また、平成22年度と平成23年度までの進捗状況報告書についても、市ホームページに掲載するとともに、所管しております企画経営課にも閲覧用の冊子を備えておりますので必要な方はご利用いただきますよう併せてお願いいたします。

今後とも、私たちのふるさと「玉名市」を市民の皆様と共によりよく創り上げていくため、市民の皆様の温かいご理解とご協力をお願いいたします。



玉名市長
高 寄 哲 哉

※「チェンジ玉名」の詳しくは、市のホームページをご覧ください。

トップ画面 ⇒ 行政情報 (計画・施策) ⇒ お知らせ (チェンジ玉名)

施策の進行状況 (平成24年度末現在)

行政経営

庁舎

①新庁舎建設の見直し

- 新庁舎の総事業費(用地費や設計費等を含む)については、機能や工法、規模の見直しを行うことで、H20年に公表した59.8億円から大幅に削減が図られました。(H25年6月末現在見込み額:約39億円)

②総合支所庁舎の有効活用

- 岱明庁舎の1階車庫スペースと旧保健室を市民団体の活動拠点として開放し、本庁の執務室の代替として6部屋を利用しました。なお、転用可能な部屋はありませんでした。

入札制度

③入札制度の改革

- 条件付一般競争入札や総合評価方式での入札が必要な事例はありませんでした。電子入札の導入は県下の他市の導入状況や業者の導入環境を見据え、H23年度導入を見送り、新たにH26年4月を導入目標としました。

財政

④健全な財政の運営

- 経常収支比率は目標91.0%以下に対し89.7%、職員削減数は削減目標数54人に対し68人でした。また、『中長期財政見通し』を作成し、財政調整用基金残高の標準財政規模に対する比率は目標値の20.0%に対し42.4%で当該年度の目標を達成しました。

⑤市長給与30パーセント削減

- H21年度(H22年1月)から継続して実施しています。

市民参加

⑥区民懇談会の実施

- 区民懇談会(市長と語ろう座談会)は、目標開催数20回に対し2回開催し、延べ参加者は49名でした。

⑦NPO法人やボランティアの支援

- 提案型補助金の創設など市民活動団体を支援する新たな制度の導入は、H23年度、財政事情を踏まえ、「玉名21の星事業」が終了するH26年度に目標を変更しました。

組織改革

⑧窓口業務の時間延長と土日開庁

- 窓口業務の時間延長は現況どおりとし、「窓口業務時間延長・土日開庁検討会(仮称)」は設置しないこととしました。なお、窓口業務の土日開庁は、市民課窓口の一部をH25年末日直近の3・4月の土曜日の4日間、午前中に限り試験的に実施しました。

⑨職員資質の向上

- 職員研修会は計画どおり実施し、職員資質の向上に努めました。

⑩職員の意識改革の徹底

- 予算の費用対効果や倹約意識を高めるため、4月に『予算の執行について』を、10月に『予算編成方針』を作成・周知し、職員の意識改革を推進しました。

暮らし

子育て

⑪赤ちゃんの駅の設定

- 「赤ちゃんの駅」は目標の53施設に対し46施設に設置しています。また、公共施設にも目標の7施設のすべてに設置しています。

⑫育児相談などの充実

- 妊婦健診費用を助成し、母子保健推進員との親子支援のための研修会も40回開催しましたが、事例検討会は開催できませんでした。また、乳幼児健診等後発達相談などは、目標の130回に対し実績は96回でした。児童相談に対応する「出張相談室」は、H23年度から岱明・横島・天水の各支所を巡回しています。

⑬ファミリーサポートの充実

- ファミリーサポーター養成講座は目標どおり実施しました。また、会員数は目標の466人に対し実績は489人でした。なお、地域ごとの協力会員のリーダーなどの配置は必要性を再検討することとし、実施しませんでした。

子育て

⑭学童保育と放課後子ども教室の充実

- 学童保育は、H23年度に1クラブを増やし、市内21小学校区を計12クラブで対応しています。また、放課後子ども教室は、目標の3教室に対し実績が2教室、参加者人数は目標の64人に対し実績が37人でした。

医療

⑮子ども医療費助成の拡充

- H22年7月から中学校就学前まで医療費助成を拡充し実施しています。

⑯小児医療体制の充実

- 公立玉名中央病院の小児科医の配置は目標の3人に対し実績は3人でした。また、医師研修事業補助金と講座開設事業補助金はともに支出し、小児救急電話相談事業を紹介するチラシを保健センターの窓口配置し、市のホームページや広報紙でも紹介して周知しました。

⑰救急医療体制の強化

- 公立玉名中央病院において、将来、同病院に医師として勤務し、地域医療に貢献しようとする医学生に修学資金を貸与する医師修学資金貸付制度が創設されました。

⑱ターミナルケアなどの充実

- 公立玉名中央病院において、がん患者の緩和ケアチームや化学療法室の設置に続き、H24年度、がん化学療法看護の認定看護師の資格認定者が新たに1名配置されたため目標の90%達成としました。

⑲市・医療機関・大学との連携強化

- 公立玉名中央病院の医師の配置は、目標の40人に対し実績が39人でした(H25年4月1日現在)。また、大学などから研修者や看護実習生を中央病院に受け入れ、本市と包括協定を結んでいる3つの大学からは講師派遣などの協力を得ました。

介護

⑳介護施設の入所待機者問題の解消

- H24年度末までを計画期間とする第4期介護保険事業計画で予定したすべての地域密着型介護施設を開設しました。また、入所者待機者数は127人(H25年4月末現在)に減少し、達成率は49.2%でした。

㉑介護予防事業の充実

- 「いきいきふれあい活動」の状況は、実施箇所数は目標73箇所に対し、実績83箇所、参加者延べ人数は目標8,900人に対し、実績10,607人と増加しました。また、介護予防支援事業(5事業)の達成率は平均88.3%でした。

㉒福祉バスの充実

- 福祉バス利用者の利便性向上のため、路線の運行日が施設の休館日と重ならないよう、運行日の変更や新規停留所の追加を実施しましたが、福祉バス充実のための具体的な検討・運用開始はできませんでした。(※福祉バスの代替的な役割も担う「予約制乗合タクシー」を岱明・横島エリアでH25年10月から運行します。)

福祉

㉓ユニバーサルデザイン行政の充実

- ユニバーサルデザインの推進に資する建物の改修補助はありませんでした。

㉔障がい者支援の充実

- 障がいや障がい者への理解と関心を深めることを目的とした広報啓発活動を5件実施しました。また、民生委員児童委員協議会において、精神障がいについての研修会を3回、障がい児(者)に対する支援体制についての研修会を1回開催しました。

経済産業

農水産業

㉕6次産業の育成と付加価値の高い農海産物の研究開発

- 6次産業産品は、「玉名シブレ(トマトしおゼリー)」、「トマトジュース『円熟』」、「正直にんにくみそ」など、計18品目の流通がなされました。また、6次産品の販売促進に資する専門家(マーケティングプロデューサー)の採用試験を実施し、1名を採用決定しました。

㉖農業経営者と後継者の育成

- 認定農業者数は、目標の1,026人以上に対し実績が1,017人でした。また、新規就農者の実質増数は、目標の10人に対し実績が53人でした。

経 済 産 業

農 水 産 業

②⑦干潟漁業などの水資源の改善

- ・漁場改善のため、「種苗の放流」は4漁協で、「耕うん」「有害生物の駆除」「堆積物の除去」は3漁協で実施しました。また、覆砂は目標60,000㎡以上に対し、実績86,816㎡でした。

②⑧漁港の整備

- ・H24年度の漁港整備関連予算6,900千円のうち、6,886千円（主に漁港敷地内の船揚場工事）を執行しました。

商 工 業

②⑨商店街の活性化

- ・個性的で魅力的な商店街を形成するための事業の方向性を検討し決定しました。また、H24年度は魅力的な商店街を形成するため、西部商店街で防犯カメラを15基設置し安心・安全な商店会の環境を提供しました。

③⑩地場企業の育成

- ・地場企業の育成などを目的に玉名商工会議所、玉名市商工会、城北地域先端技術波及促進協議会に対し総額20,260千円の補助金などを支出しました。なお、誘致企業等連絡会議と他の市内企業との連携を深めるための組織化はできませんでした。

③⑪企業の誘致

- ・H24年9月に飲料水・健康食品製造業の1社と、H24年12月にうずら卵加工業の1社と立地協定を締結しました。また、新規企業へのアプローチは、目標の5件に対し実績が11件でした。

観 光

③⑫玉名温泉の活性化

- ・玉名温泉の活性化のための新イベントとしてロックオンTAMANA オヤジバンドフェスティバルを開催するなど、パイロットプロジェクトの7項目中3項目に取り組みました。また、菊池川温泉郷のパンフレット配布など、玉名温泉の観光客の増加に資する支援を昨年度と概ね同様に実施しました。

③⑬観光の振興

- ・体験のものの観光商品を10件開発・調整し、「玉名観光ガイドの会」と連携して花しょうぶの時期に観光案内所を設け“おもてなしの心の向上”に努めました。また、広島フラワーフェスティバルなどに参加し、観光客増加に資する誘致・宣伝活動を実施しました。なお、観光協会の会員数は2会員が減少しました。

流 通

③⑭トップセールスの実施

- ・農産物のトップセールスは大阪で実施しましたが、観光地のセールスはできませんでした。また、市の観光地や特産品を広報媒体を活用して宣伝する取り組みは新聞やラジオにより実施しました。企業誘致のためトップセールスも3件実施しました。

③⑮販売網の確立

- ・広島フラワーフェスティバル、渋谷フェスティバル、玉名フェアin大阪など各種イベントや物産展などで売り込み活動を実施しました。

人 づ く り

教 育

③⑯「玉名市『なかよしの日』」の制定

- ・くまもと教育の日との共同開催で親子で参加できる遊びコーナーを設けるなどのイベントを開催しましたが、「なかよしの日」の普及・啓発という点では成果を実感するまでに至りませんでした。

③⑰児童や生徒の学力向上の推進

- ・学力向上研究指定校には玉水小、小天小、高道小、天水中の4校を指定しました。また、全国学力学習状況調査は市立の小学校21校と中学校6校のすべてで実施しました。

③⑱食育の推進

- ・食育推進計画に掲げる指標9項目の達成率平均は69.4%でした。また、欠食率は、小学校高学年（5年生）が1.13%から0.47%に、中学生（2年生）が2.50%から1.72%に減少しました。（※小学校低学年は調査未実施。）

③⑲計画的な教育施設の充実

- ・耐震診断は玉名中武道場を、耐震補強工事は玉水小教室棟、睦合小教室棟、玉陵中技術棟、岱明中特別教室棟、有明中管理特別教室棟を実施しました。また、玉南中体育館の改築を実施しました。武道場についてはH25年度に改築予定です。

④①教育委員会の改革

- ・具体的な年度別目標や数値目標を設定をしていないため、目標達成度は評価しません。

人 づ く り

文 化

④①芸術文化都市の構築

•文化協会はH24年度から支部制度を統合し活動を開始されました。また、公民館講座は43講座(参加者803人)を開催し、学習フェスティバルをH25年2月に実施しました。さらに、「グレン・ミラー音楽祭 17th」を支援し、「音楽の都 玉名」づくりの推進のための『政策推進ビジョン』を作成しました。

④②国際交流の推進

•8月に民間団体が実施されたロサンゼルス日系4世バスケットボール答礼訪問などにより国際交流の推進が図られました。また、玉名国際交流協会に対し、運営のため補助金を交付するなどの支援をしました。さらに、市民の国際交流を奨励する総額1,788万円の補助を25件(102人)実施しました。

ス ポー ツ

④③スポーツの振興

•スポーツ振興を図る職員の専門研修は目標をH25年度に先送りした。また、市民スポーツの積極的な普及のための職員の派遣者数は、目標数の60人に対し、実績が60人でした。

安 心 安 全

安 全

④④自然災害に強い都市づくり

•防災無線のデジタル統合化のための実施設計は、H29年度に先送りしました。また、防災意識の高揚を図るための講演会等は計画どおり3回実施し、自主防災組織は新規に4地区で組織され組織率が41.86%となりました。

定 住 化

④⑤定住化の促進

•スマイルプラン(定住化基本構想)の定住促進のための施策(案)の中から取り組むこととした9施策のうち、5施策が達成(ほぼ達成、一部達成を含む)、4施策が着手、1施策が未着手でした。また、下水道の整備の進捗度は、事業総額ベースで44.1%でした。

環 境

④⑥太陽光発電システムと新・省エネルギー導入事業者の支援

•太陽光発電システム導入のための補助金の支出は、目標の200件に対し実績が216件でした。

④⑦資源ゴミ収集の拡大

•ゴミ廃棄量は、前年度16,432tに対し16,861tと増加し、資源ゴミ回収量は、前年度1,376tに対し1,363tと減少しました。また、コンテナ回収の収集量は、前年度430tに対し446tで3.7%増加しました。

④⑧エコ活動の推進

•環境基本計画の策定に着手しました。また、エコ活動を行なう市民団体「玉名地球温暖化対策地域協議会環境応援団エコの環たまな」に補助金を支出しました。

ま ち づ く り

面 整 備

④⑨新幹線新玉名駅周辺整備の推進

•新幹線新玉名駅周辺整備の推進に係る施策である①駅前広場の整備、②観光交流プラザ「たまらう」の開設、③新玉名駅から寺町大坊線までの県道(仮称:東西道路)の供用、④広場の南側の交流施設3.2haの整備方針の決定は、H22年度に実施しました。

道 路

⑤⑩バイパス建設の促進と広域幹線道路の整備

•チェンジ玉名の期間事業費ベースでは、H24年度、岱明玉名線(L=1,100m)を17.2%分、立願寺横町線(L=1,330m)を15.7%分整備しました。なお、立願寺横町線はH25年3月から全線供用開始しています。

⑤⑪生活道路の整備

•生活道路の整備に資する道路改良工事は予算額の94.0%を執行しました。

河 川

⑤⑫境川改修の推進

•下流部の県管理区間が整備されなかったため、実施設計をH28年度に延期しました。なお、工事着工はH31年度を目標とします。

※52施策の中で最も重要とするものを青色太字で、特に重要とするものを太字で示しています。

施策紹介⑤

新庁舎建設の見直し

本市では、築50年を超え老朽化が進む市役所本庁舎の建設を進めており、これまで、合併協定などに基いて基本構想や基本設計を策定し、それにより平成20年には建設に必要な総事業費を59億8千万円と見込み公表していました。

しかしながら、本市の厳しい財政状況の下では、将来にわたって市民負担を最小限に抑えることが必要であるため、新庁舎の規模や機能を見直すことで、更なる経費の削減を図る必要があるとの判断から、新庁舎建設検討委員会などを中心に再度検討し、また、工法の変更や入札などの結果により、用地費や造成工事費などを含む総事業費を約39億円に削減することができました。

本年6月には大手ゼネコンと市内業者による共同企業体(JV)との建設工事請負契約締結について市議会の了承を受け着工し、現在、平成26年12月の竣工を目標に工事を進めています。



【市役所新庁舎完成イメージ】

太陽光発電システムの設置の支援

地球温暖化を防ぐための対策として、二酸化炭素やメタンなどの温暖化ガスを極力排出しない低炭素社会の実現に向け誰もが努力するよう求められていることから、本市では、平成21年7月から住宅用太陽光発電システム設置に際しての補助金を支給しています。

チェンジ玉名では、これを重要施策と位置づけ、チェンジ玉名を公表した平成22年度から昨年度末までの3年間で目標としていた支給件数600件を大きく上回る648件の補助を実施しました。

今後は、限りある予算を更に有効に活用しながら、低炭素社会の実現により一層寄与するために、必要に応じて現行の補助単価、補助要件等に検討を加えながら、補助事業を継続することで、より多くの市民の皆さんに制度をご活用いただき、住宅用太陽光発電システムの設置を進めていただけるよう配慮して参りたいと考えます。



【太陽光発電システム】

※「施策の紹介①・②」は平成23年10月に、「施策の紹介③・④」は平成24年9月に各世帯に配布させていただいた『「チェンジ玉名」進捗状況報告書【概要版】』に掲載しています。

施策紹介⑥

介護予防事業の充実

市町村による介護予防のためのサービス事業の一つである介護予防事業には、すべての高齢者を対象に介護予防に関する情報の提供や介護予防のための活動の支援・環境整備などを行う一般高齢者施策と、要支援や要介護となる可能性の高い高齢者を支援するための特定高齢者施策があります。

本市では、引きこもり状態の高齢者の増加が要介護者の増加に直結しているとの考えから、要介護者の増加や介護給付費の増大を抑制するための介護予防事業の中核をなす行政区単位の取組として、地域の公民館で「いきいきふれあい活動」を積極的に展開し、高齢者の介護予防の充実に努めています。



【いきいきふれあい活動（八嘉4支部 中央公民館）】

広域幹線道路の整備

市域の骨格を形成する幹線道路は、主要な交通結節点のアクセス道路として、また、物流や交通の活性化に資する道路として重要です。

そこで、南北方向の幹線道路として、国道208号と国道501号を結び、JRの線路を直線道路で高架する岱明玉名線の整備を進めています。現在までに国道501号から県道長洲玉名線までの2,600mが完成し供用開始していますが、残りの国道208号までの1,100mは平成30年度の完成を目指して事業を進めているところです。

また、チェンジ玉名の計画期間に供用開始を目指していた国道208号（高瀬地区）から温泉地区を結ぶ立願寺横町線（1,330m）は、中心市街地や市の周辺地域を結ぶ幹線道路として、平成24年度末に全線開通し、築山小学校東側と玉名バイパスを結ぶ境川山田線（328m）も玉名バイパスの開通と併せて、平成22年度末に部分開通しました。

なお、県が整備する主要地方道などの県道についても、適正な整備がなされるよう必要に応じ随時要望活動を実施しています。

平成25年9月15日発行

編集・発行／玉名市 企画経営部 企画経営課
〒865-8501



熊本県玉名市繁根木163番地
TEL (0968) 75-1213
<http://www.city.tamana.lg.jp>

表紙の写真：玉名市6次産品

6次産業とは、生産者（1次産業者）が、地域の農林水産物を生かして加工（2次産業）から、流通・販売（3次産業）まで手がけることで、農林水産業の経営体質強化を目指す業態です。

表紙は、本市の6次産業により開発され流通している6次産品です。